

小代中だより

「自ら未来を切り拓く
心豊かな生徒の育成」

香美町立小代中学校

No. 9 令和6年12月3日

目的を明確にすること

雨の日が続き、これまで外で活動していた陸上部の生徒たちが、校内でトレーニングする姿が見られるようになりました。体幹を鍛えるもの、柔軟性を鍛えるもの、筋力をつけるもの、様々なトレーニングを行っています。一見するとこれは何のためのトレーニングなのだろう、何を鍛えるのだろう、と思えるトレーニングも、必ずその動きには意味があり、何が鍛えられるのかがはっきりとしているものです。実際にそれを行っている生徒もそのトレーニングの目的を理解し、行っていることでしょう。目的もわからずに、ただ体を動かしているのでは効果も薄く、モチベーションも上がりません。晴れる日が少なくなるこれからの季節、しっかりと体を鍛えることは、グラウンドで行う実際の競技に向けての確かな土台となることでしょう。

GOAL !

さて、一つ一つのトレーニングにおいて目的を明確にすることが効果的であることと同様に、学習においても、目的を明確にすることは、とても大切なことです。授業においては、毎時間教科担任の先生が黒板に今日の「めあて」を提示されます。家庭での学習はどうでしょうか。学習を始める前に何を理解するのか、何を覚えるのか、何ができるようになるのかをはっきりとさせておくことが大事です。自主学習をする際に何を目的に学習をするのかを必ず書いてからすると学習効果が高いと言われます。目的を明確にすると、学習後にその目的が達成されたのかを確かめようとして、確かめることで、自分の出来ていないことがはっきりとしてきます。そして出来るようになるためにさらに何をすべきかが具体的に見えてきます。自主学習はその繰り返しなのです。

中学時代の学びはただ単に知識を得ることだけが目的ではありません。学びを通して、ものごとを論理的に考えられるようになったり、多面的にもものを見られるようになったり、段取りを学んだり、学びの中には非常に多くの要素が含まれています。教室では、思う存分考え、周りとともに学び、自分一人になった時には、自分なりに目的を持って学習をすすめ、中学時代の学びをより豊かな学びにしてほしいと思います。

世界に目を向けてみよう・・・ ～国際理解講演会より～

11月12日(火)国際理解講演会として、ケニアのマゴソスクール主宰の早川千晶さんに来ていただきました。早川さん自身の経験を交え、マゴソスクールの子どものお話など聞かせていただきました。私たちの今ある生活とは、全く異なる生活、状況を聞かせてもらいながら、「生きること」「夢を持つこと」様々なことを考えさせられました。生徒の感想を読みながら、早川さんのお話が生徒の心に届いていることを感じました。直接会うことはできなくても、悲しい誰かのために思いを馳せる、祈ることは離れていてもできることです。人を思いやる心の温かさに気づかせていただきました。以下は生徒の感想です。



今日の講演会で、最後のマゴソスクールの子たちが、東日本大震災の時、日本に向けて歌ってくれた動画がとても印象に残っています。遠い日本で起きた出来事なのに、自分たちの事のように涙を流してくれていて、その姿を見てとても感動しました。マゴソスクールの卒業生の子が日本で働いていることを聞いて、なんでもあきらめなければ夢は叶うんだ、と思えて、私も頑張ろうと思えました。早川さんが「なぜ世界は不公平なのか」という疑問から旅に出た、という行動力が本当にすごいと思ったり、かっこいいと思いました。(3年女子)



今日お話を聞いて一番心に残ったことは、自分にできることがなかったら、みんなで祈るということです。家族をなくす悲しみがよくわかるからこそできるんだと思いました。マゴソスクールの生徒さんたちやキベラスラムで生活する人たちは誰かのために働いたり、祈ったりしていてすごいと思います。スクールを卒業された人が日本で働いていると聞いてとても驚きました。早川さんは世界のどこにでも行けて、誰とでも友達になれるなんてとてもすごいと思いました。そして困っている人のために助ける姿が本当にすごいと思いました。私はあまり外国に行きたくなかったけれど、マゴソスクールやキベラスラムには行きたいと思いました。(2年女子)

ケニアの人たちはどんなに辛いことがあっても「夢」をみんなもってるのがすごいことだな、と思いました。「夢」に向かってひたすらに頑張るといのはとてもかっこいいことだと思うし、「ぼくは一人じゃない」という言葉が強く印象に残りました。自分の生き方について考えさせられました。(3年男子)



音楽 特別授業「ギターを教わりました！」



昨年度のコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の中で、地域の方で学校教育に何か協力していただける方がいらっしゃらないだろうか、というお話が出ました。中学校では、もしギターや箏を指導していただける方がおられたらお願いしたいという話をしたところ、早速、運営委員さんを通じ、ギター講師の方をご紹介いただきました。



そして、11月13日1年生の音楽の授業にギターの講師として、小代区在住の西村吉弘さん、藤井昌彦さんにお越しいただきました。コードを丁寧に教えていただき、何とか最後はみんなで分担しながらも「カントリーロード」を演奏することができました。藤井さん、西村さんのギターと歌も聞かせていただき、あっという間に時間が過ぎていきました。「楽器が弾けるって楽しいな」そんな感覚を持つことのできた50分でした。お忙しい中、講師としてお越しいただきました西村様、藤井様、ありがとうございました。



ヒヤシンスが芽を出しました

今年も校長室でヒヤシンスの水耕栽培が始まりました。ようやく黄緑色の小さな芽が見えだしました。白く長い根がぐんぐん伸び、そろそろかな、と思っているとひょっこりと小さな芽が顔を出しています。この小さな球根が花を咲かせるための栄養をぎゅっと蓄えて、じっとガラスの瓶に乗っているのかと思うと何とも愛おしく感じてきます。「そろそろ、水を替えようか?」「お、芽が出てきた。」「がんばれ。」と心の中でつい話しかけてしまいます。この球根たちがいるだけで、心が癒されるような気がしています。

